

令和6年度 第1回 郡山遺跡・陸奥国分寺跡等調査指導委員会 議事録

○開催日 令和6年7月18日（木） 10:30～

○開催場所 史跡陸奥国分寺・尼寺ガイダンス施設 学習室

○出席者

（委員）

山形大学学士課程基盤教育院教授 荒木 志伸

仙台市教育局学校教育部学びの連携推進室

主任兼学力向上サポーター（社会科） 伊藤 恵子

東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター教授・センター長 北野 博司

筑波大学 芸術系 教授 黒田 乃生

石巻専修大学 経営学部経営学科 専任講師 菅原 玲

東北学院大学文学部歴史学科 教授 永田 英明 【委員長】

郡山地区連合町内会 顧問 松 公男

国立歴史民俗博物館 教授 三上 喜孝

秋田大学教育文化学部名誉教授 渡部 育子 【副委員長】

※敬称略・五十音順

（オブザーバー）

宮城県文化財課

技術主幹 千葉直樹

技師 大沼柊平

（事務局）

教育生涯学習部長 伊勢文葉

文化財課長 長谷川蔵人

文化財課整備活用係長 佐伯修一

主任 佐々木丈夫

主事 妹尾一樹

会計年度職員 長島栄一

〃 伊藤穂高

（報道機関） なし

（傍聴人） なし

○議事（要約）

（1）現地視察：陸奥国分寺跡（仙台市若林区木ノ下）

(2) 令和6年度の発掘調査について

① 陸奥国分寺跡

(委員長)

本日は令和6年度の陸奥国分寺跡ならびに郡山遺跡に関する発掘調査、そしてもう1つ郡山遺跡整備基本計画の方向性を出すということになっております。皆さんからご意見をいただければと思います。

(事務局)

陸奥国分寺について、先ほど現地で申し上げましたとおり、築地の掘り込み部分を約30m、区画溝を合わせれば90m近い北辺が発見されたということで、ご異存がなければ、7/24(水)に報道発表、それと27(土)に見学会をさせていただきたいと思います。いかがでしょうか。

(異論なし)

(委員長)

今回は調査の結果、北辺の確定ということが大きな成果で、委員の皆様は特にご異存がないようですので、それで発表させていただきたいと思います。

② 郡山遺跡

(事務局) 省略

(委員長)

今年度の調査につきましては政庁内の石組み溝の状況について更なる知見を加えて行いたいとのこと。この調査の予定につきまして、ご意見・ご質問等あればよろしくお願いします。

(北野委員)

この溝から北側に点線が伸びていて、石組み池の方にまた折れて、そこにSD1236とあり、中心軸から東側に折ったところにも溝を検出した線が書いてありますが、こちらの方(東方)には石組み溝はなかったのでしょうか？

(事務局)

東側の方では素掘りの溝が伸びていたのは事実で、石組み溝ではありませんでした。あと、SD1600の上の点線は、これ想定でございまして。痕跡があったからとかというわけではな

くて、石組み池の隣に SD1236 というのが延長していった先とこの SD1600 の北側が交わるのかどうかは想定範囲から出ていない状況です。ただ、この正殿の SB1250 の西側を掘った地主さんがその時に石に当たったということは申しておりました。

(北野委員)

北側にはもう 1 つ SD1217 という石組みの溝跡がありますが、場合によってはこういうものに関連する可能性もあるわけですね。その辺も含めて今後確認していくということでしょうか？

(事務局)

はい。その通りでございます。

(委員長)

ちなみに調査はいつ頃になるのでしょうか？

(事務局)

9 月の半ば以降になるかと思われます。

(委員長)

この石組みの溝の問題も今後重点的に見ていきたいというようなお考えでしょうか。

(事務局)

石組み池のトップの石のレベルと、その後ろにある石敷きの高さのレベルと、石組み溝の深さと言いますか、あとは傾斜と言いますか、それらを把握の必要があります。ここの部分の整備をどうするか、石組み溝に傾斜を付けるか付けないか。地表をどのレベルで考えるかとか、そういうことを考えることが重要な遺構の調査の 1 つだと思っております。

(委員長)

特に意見が無ければ、今後の整備の基礎にもなるという調査ということで了承とさせていただきます。

(3) 「史跡仙台郡山官衙遺跡群整備基本計画」について

非公開

(４) その他

(委員長)

その他に何か委員の先生方から特にご発言等ありますか？なければ、事務局からお願いしたいと思います。

(事務局)

事務連絡(割愛)

閉会